

「胃と腸」では1995年、第30巻第9号で「胃の平滑筋腫と平滑筋肉腫—新しい視点を求めて」が特集され、良悪性の鑑別を中心に、当時としてはup to dateな議論が交された。その後、わずか数年の間に消化管間葉系腫瘍のひとつであるGISTの名称が世に広まり、多くの報告を目にするようになった。残念ながら、その概念、分類、良悪性の基準などの記述が統一されていないのが現状である。GISTをテーマに取り上げるにあたって、本誌編集委員会では、解析に必要な症例の集積が少ないことを危惧する意見も出されたが、これまでの流れを整理するためにも、「胃と腸」として、消化管間葉系腫瘍の中でのGISTの位置づけを示し、分子生物学的背景、臨床的対応などを論じることを目的に今回の特集が組まれた。GISTの

歴史をわかりやすく解説した岩下論文をはじめ、遺伝子レベルの解析から、診断、治療に至るまで、最新の情報が網羅されたのではないかと考えているが、読者の皆様のご批判をいただければ幸いである。GISTは胃に多いが、小腸、大腸に少なく、食道にはない、生物学的には下部消化管ほど悪性度が高いなど、臓器特異性という点で興味深い成績が明らかにされた(岩下、高見論文)。大重、大山論文に示されたGISTのリンパ節転移の報告はたいへん貴重である。そのほとんどが、肝転移再発死亡していることは臨床的対応について多くの示唆を与えてくれている。c-kit遺伝子変異に関する研究は、腫瘍の悪性度判定のみならず、GISTに対する有効な治療薬の開発に一縷の光を投じており、今後の展開が期待される。

胃と腸

9月号(第36巻・第10号) 予告

発売予定

9月25日

定価(本体2,300円+税)

主題／縮小治療のための胃癌の粘膜内浸潤範囲診断

序説	縮小手術のための胃癌の粘膜内浸潤範囲診断……………慶應大・外科	大谷 吉秀
主題	非腫瘍との境界のわかりにくい胃癌は増加しているのか……………福井県立病院・外科	細川 治・他
	X線からみた胃癌の粘膜内浸潤範囲診断……………名大・第1内科	横山 善文・他
	内視鏡からみた平坦・陥凹型早期胃癌の粘膜内浸潤範囲診断……………JR仙台病院・消化器科	三島 利之・他
	病理からみた胃癌の粘膜内浸潤範囲診断……………兵庫医大・第2病理	西上 隆之・他
	治療別にみた胃癌の粘膜内浸潤範囲診断—EMR……………社保中総合病院・消化器科	浜田 勉・他
	治療別にみた胃癌の粘膜内浸潤範囲診断—EMR……………国立がんセンター中央病院・内視鏡部	小野 裕之
	治療別にみた胃癌の粘膜内浸潤範囲診断—腹腔鏡補助下幽門側胃切除術(LADG)……………大分医大・第1外科	安田 一弘・他
	腹腔鏡下胃局所切除(Lesion lifting法)における粘膜内浸潤範囲診断—術前マーキングの重要性……………慶應大・外科	大谷 吉秀・他
	早期胃癌に対する外科的胃局所切除術……………新潟がんセンター新潟病院・外科	梨本 篤・他
	センチネルリンパ節生検を適用した小開腹胃楔状切除における粘膜内浸潤範囲診断……………大阪府立成人病センター・外科	平塚 正弘・他
胃と腸ノート	狭帯化RGB filter内蔵narrow band imaging(NBI)systemの開発・臨床応用……………国立がんセンター東病院・内視鏡部消化器内科	佐野 寧・他
主題症例	病変の拡がりの診断に苦慮した早期胃癌の1例……………癌研究会附属病院・内科	武本 憲重・他
	癌粘膜内進展範囲の診断に難渋した早期胃癌の1例……………東京都がん検診センター・消化器科	長浜 隆司・他

胃と腸 (第36巻 第9号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2001年8月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2001年年々ぎめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)渡辺・永安・阿野・小松原